

ルール限界フェース溝設計でスピんがかかる！ EZONE TOUR ウェッジ発売

ヨネックスは、弊社契約プロが使用する「EZONE TOUR（イーゾーン ツアー）ウェッジ」を2012年9月29日に発売いたします。

EZONE TOUR ウェッジは、精密な加工技術によって溝の形状（太さ）を広げることに加え、溝と溝との間隔もルール内限界まで狭めました。これによって、打球点の溝の本数が増え、フルショット



▲EZONE TOUR ウェッジの 52 度（左）と 58 度（右）

はもちろんグリーン周りのアプローチでも高いスピん性能を発揮します。

また、ソール形状はバンス角を多めの 12 度に設定（ロフト角 58 度の場合）。ハイバンスのウェッジはソールが邪魔をして“フェースが開きづらい”、“フェアウェイから打ちにくい”といった傾向がありましたが、ソールのヒール側やソール後方を削ぎ落とした形状を採用。構えた時、あらゆる状況でもヘッドの座りがよく、ハイバンスながらローバンスのような抜けの良さとフェースの開きやすさを実感できます。そして、バンカーショットやラフからのアプローチショットでは、ハイバンスならではのソールを活かした安定したショットを実現できます。

これら一つひとつにこだわりを持った形状は、多くのツアープロのクラブ設計を手掛け、数々のヒット商品を生み出してきたクラブデザイナー宮城裕治氏（（有）クールデザイン社長）が設計・監修致しました。

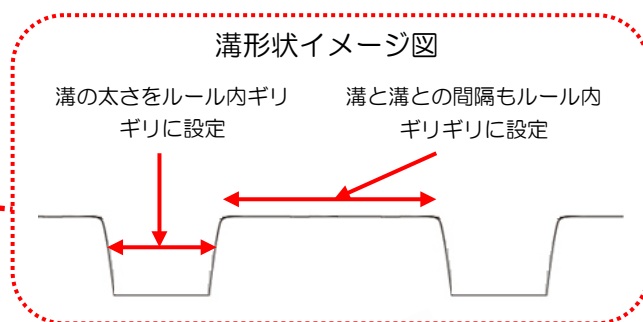
EZONE TOUR ウェッジは既に弊社契約の石川遼プロが今季使用し、女子では今年 3 年半ぶりの優勝を挙げた若林舞衣子プロが使用しております。

ロフトバリエーションは 52 度と 58 度の 2 種類。シャフトには、ツアープロも使用するトゥルーテンパー社製スチール、ダイナミックゴールド ツアーイシューを採用いたしました。

機能説明

◆アプローチショットでも高いスピン性能を実現するルール限界フェース溝設計

精密な加工技術によって溝の形状（太さ）をルール内限界に設定。さらには溝と溝との間隔もルール内限界まで狭めることができました。これにより打球点の溝の本数が増え、フルショットはもちろんグリーン周りのアプローチでも高いスピン性能を発揮します。



◆ローバンスのような抜けの良さとフェースの開きやすさを実感できるソール形状

ソールのヒール側やソール後方を落とした形状を採用。構えた時のヘッドの座りがよく、ハイバンスながらローバンスのような抜けの良さとフェースの開きやすさを実感できます。そして、バンカーショットやラフからのアプローチショットでは、ハイバンスならではのソールを活かした安定したショットを実現できます。



商 品 名：EZONE TOUR ウェッジ

素 材・製 法：本体/S25C 軟鉄鍛造 サテン仕上げ（ノーメッキ）

シャフト/トゥルーテンパー社製ダイナミックゴールド ツアーイシュー
グリップ/ツアーベルベットラバー（YONEX ロゴ付き バックライン無し）

希望小売価格：¥26,250（本体価格¥25,000）

発 売 日：2012年9月29日

原 産 国：日本

番手	52/10	58/12
シャフト名称	ダイナミックゴールド ツアーイシュー	
ロフト角(°)	52	58
ライ角(°)	63.5	64
フェースプログレッション(mm)	5.2	5.7
バンス角(°)	10	12
クラブ長さ(インチ)	35.25	35
バランス	D2	
クラブ質量(g)	466	468
シャフト硬さ	S200	
シャフト質量(g)	118	
トルク(°)	1.6	
調子	手元	
最適ヘッドスピード(m/s)	46前後	

クラブデザイナー 宮城裕治氏

1962年8月30日生まれ。メーカー勤務時代にツアープロ用のクラブ開発に携わり、2006年に独立して有クールデザインを創設。ヘッドデザインやソール形状など、使用プロのスイングに最適なクラブ設計を個々に行い支給することで多くのプロゴルファーから支持され、これまでもクラブメーカーのウェッジ開発を手掛けヒット商品を生み出してきた日本を代表するクラブデザイナーです。弊社と宮城氏は、2010年にクラブアドバイザー契約を交わし、以降弊社クラブ開発へのアドバイスとヨネックス契約プロへのサポートを中心とした活動に注力しています。
